

令和3年度

「教育に関する事務の管理及び執行状況」
の点検及び評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第26条の規定に基づき議会に提出

飯豊町教育委員会

目 次

- 1 教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 教育委員会の事務の点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

1 教育委員会の活動状況

飯豊町教育委員会の活動状況

1 教育委員会の開催

- (1) 飯豊町教育委員会会議規則（昭和44年7月17日教委規則第2号）により、教育長が必要と認めた場合において開催することとしている。
- (2) 教育委員会会議については、原則公開としているが、令和3年度において傍聴者はなかった。
- (3) 教育委員会会議の開催予定及び会議の概要について、町ホームページでの周知・公開を今後検討する。
なお、令和3年度の開催状況は以下のとおりである。

令和3年第4回教育委員会(R3.4.27)

議事

- (1) 飯豊町立学校歯科医の委嘱について
- (2) 飯豊町教育支援委員の委嘱について
- (3) 飯豊町立学校運営協議会委員の任命について
- (4) 飯豊町公民館運営審議会委員の委嘱について
- (5) 飯豊町公民館分館長の委嘱について

令和3年第5回教育委員会(R3.5.25)

議事

- (1) 飯豊町教育委員会事務局代決規程の一部を改正する訓令の制定について
- (2) 令和3年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
- (3) 飯豊町学校給食共同調理場運営委員の委嘱について

- (4) 飯豊町子ども・子育て会議委員の委嘱について
- (5) 飯豊町子ども読書活動推進協議会委員の委嘱について

令和3年第6回教育委員会(R3.7.26)

議事

- (1) 令和3年度教職員人事異動の内申について

令和3年第7回教育委員会(R3.8.17)

議事

- (1) 飯豊町幼保連携型認定こども園費用徴収規則の一部を改正する規則の制定について
- (2) 飯豊町保育所費用徴収規則の一部を改正する規則の制定について
- (3) 飯豊町児童厚生施設運営規則の一部を改正する規則の制定について
- (4) 飯豊町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する規則の一部を改正する規則の制定について
- (5) 飯豊町放課後学童クラブ設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
- (6) 令和4年度使用小学校用教科用図書及び中学校用教科用図書の採択について
- (7) 令和2年度「教育に関する事務の管理及び執行状況」の点検及び評価報告書について

令和3年第8回教育委員会(R3.10.4)

議事

- (1) 飯豊町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について

令和3年第9回教育委員会(R3.11.4)

議事

- (1) 令和3年度飯豊町保育料段階的負担軽減補助金交付要綱の設定について
- (2) 飯豊町民スポーツセンター及び中津川体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

令和4年第1回教育委員会(R4.2.25)

議事

- (1) 行政手続における押印見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の設定について
- (2) 飯豊町幼保連携型認定こども園設置条例の一部を改正する条例の制定について
- (3) 飯豊町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- (4) 飯豊町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- (5) 行政手続における押印見直しに伴う関係規則の整備に関する規則の設定について
- (6) 行政手続における押印見直しに伴う教育委員会関係規則の整備に関する規則の設定について
- (7) 飯豊町公民館(分館)施設整備事業費補助規程の一部を改正する規程の制定について
- (8) 飯豊町児童生徒就学援助要綱の一部を改正する要綱の制定について
- (9) 飯豊町特別支援教育就学奨励費交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

- (10) 令和4年度飯豊町学校教育指針について

- (11) 令和4年度飯豊町社会教育指針について

令和4年第2回教育委員会(R4.3.10)

議事

- (1) 令和4年度教職員人事異動の内申について

令和4年第3回教育委員会(R4.3.24)

議事

- (1) 飯豊町行政組織規則の一部を改正する規則の制定について
- (2) 飯豊町幼保連携型認定こども園管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
- (3) 飯豊町幼保連携型認定こども園費用徴収規則の一部を改正する規則の制定について
- (4) 飯豊町保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
- (5) 飯豊町保育所費用徴収規則の一部を改正する規則の制定について
- (6) 飯豊町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する規則の一部を改正する規則の制定について
- (7) 飯豊町保育所管理規則を廃止する規則の設定について
- (8) 飯豊町子ども手当事務処理規則を廃止する規則の設定について
- (9) 令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
- (10) 令和4年度飯豊町特別支援教育就学奨励費の交付認定について
- (11) 飯豊町立学校医の委嘱について

- (12) 飯豊町立学校歯科医の委嘱について
- (13) 飯豊町立学校薬剤師の委嘱について
- (14) 飯豊町社会教育推進員の委嘱について
- (15) 飯豊町青少年育成推進員の委嘱について
- (16) 飯豊町スポーツ推進委員の委嘱について

- (2) 西置賜地区教育委員会協議会研修会(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

[学校等訪問]

- 各幼児施設及び小中学校、調理場訪問 (R3. 10. 26、R3. 11. 4)

2 教育委員会協議会の開催

当面する検討課題等について意見交換を行った。

令和3年第3回教育委員会協議会 (R3. 4. 27)

- (1) 飯豊町教育大綱について
- (2) 小学校再編に係る専門家会議について

3 教育懇談会、研修会への参加等

教育懇談会に参加したほか、学校及び幼児施設等の訪問を行った。例年、西置賜地区や県の関係機関が開催する研修会に参加しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

[教育懇談会]

- (1) 令和3年度飯豊町教育懇談会(R3. 11. 30)

[教育委員研修]

- (1) 山形県市町村教育委員大会(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

2 教育委員会の事務の点検・評価

(重点項目) 学校教育の充実

◇目標 「SDGs 未来都市」に選定された飯豊町として、地球環境の危機的状況を理解し、対処するための知識を育みつつ、グローバル化が進む社会に適応できるよう、知・徳・体のバランスのとれた、新しい時代に活躍できる子どもの育成を目指します。地域とのつながりを大事に、連綿とつないできた文化や先人の思いを自分事として学び、社会の中で主体的に生きることができる子どもを育てます。

特別な教育的支援を必要とする子どもたちへの対応や、家庭環境、経済的状況等による教育格差解消に向け、関係機関と連携して取り組んでいきます。少子化が進行する中、子どもたちにより良い教育環境を確保するため、町内幼児施設と小学校の再編を進めていきます。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(1) SDGs 教育の推進				
①学力向上推進プランや町営学習教室「いいで希望塾」の実施	<p>○学力向上推進プランに基づき、SDGs の精神を活かした教育を実践した。</p> <p>○学習習慣の定着と学力の向上を目指し、中学生を対象とした町営学習教室「いいで希望塾」を継続して開講した。</p>	<p>○令和3年度の標準学力調査において、本町の小中学校の教科総合偏差値平均の目標値は53点に対し、小学校は達成したが、中学校は達成できなかった。【一部達成】</p> <p>○令和3年度は、新型コロナウイルスの感染対策をし、オンライン授業も取り入れ、年間20回の開催をほぼ達成することができた。【ほぼ達成】</p>	<p>○標準学力調査教科総合偏差値平均点 【目標】53点 【実績】 小学校：53.1点 中学校：50.3点</p> <p>○「いいで希望塾」年間開催回数 【目標値】20回 【実績】 3年生：18回 1・2年生：17回 参加生徒数：57名</p>	<p>○学力向上推進プランに基づき、SDGs の精神を活かした教育を実践し、推進していく。</p> <p>○中学生を対象とした町営学習教室「いいで希望塾」については、令和4年度においても引き続き実施し、各学年20回の開催を予定している。</p>
②学校教育指導専門員の配置(教職員への授業指導)	学校教育指導専門員による小中学校の授業参観を182回実施し、指導方法に関する評価や改善の提案を教員へ行った。さら	学校教育指導専門員のきめ細かい指導と取り組みにより教員の指導力向上や学校経営の改善向上を図ることができた。【達成】	学校教育指導専門員配置人数 【目標】1名 【実績】1名	引き続き学校教育指導専門員を配置し、小中学校の教員のスキルアップの支援を行っていく。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>④スクールカウンセラーによる臨床心理指導、定期相談や早期支援連携事業の実施</p>	<p>に教員を対象とした示範授業(13回)や「授業づくり資料」の発行(19回)等を実施した。</p> <p>○問題を抱える児童生徒の自立支援や相談活動、問題行動の未然防止のため学校支援員や児童生徒相談員を各校に配置するとともに、教育相談体制の充実を図ってきた。</p> <p>○いじめ問題は、「どの子どもにも、どの学校においても起こり得る」ものであることを認識し、いじめの早期発見及び対応に努めるとともに、平成26年度に「飯豊町いじめ防止基本方針」を策定し、平成31年3月に一部改正を行った。また、いじめの未然防止に向けては、学校における取組状況の点検や教員研修の充実を啓発し、指導主事やスクールカウンセラーによる個別の相談活動や指導・助言を行った。</p> <p>また、「Q-Uテスト」を全校で実施するとともに、スクー</p>	<p>○小学校は、1学期に41件、2学期に76件、3学期に4件のいじめ問題が報告された。すぐに学校いじめ防止方針に基づいて対応し、うち117件が解消し、4件は解消に向けて取り組んでいる。</p> <p>○中学校は、1学期に8件、2学期に4件、3学期に0件のいじめ問題が報告された。同様に学校いじめ防止方針に基づいて対応し、2学期に全て解消となった。</p> <p>○学校における体罰件数は0件であった。</p> <p>【一部達成】</p>	<p>○いじめの報告数に対する対応</p> <p>【目標】未解消数0件</p> <p>【実績】いじめの報告数 小学校121件 うち未解消数4件 中学校12件 うち未解消数0件</p> <p>○体罰の報告件数</p> <p>【目標】0件</p> <p>【実績】0件</p>	<p>○いじめ問題に対する取組を学校と教育委員会が一丸となって進め、児童生徒や家庭との信頼関係を築きながら、問題を抱える児童生徒一人一人に応じた指導・支援を積極的に進めるとともに、関係機関が連携し、今後もしじめ問題の発生を未然に防ぐ取組を恒常的に実施する。また相談窓口を継続して設置し、その周知を図る。</p> <p>○教育現場において、教員や部活動の指導者等が体罰に関する正しい認識を持ち、児童生徒理解と適切な信頼関係に基づく指導が行われるよう学校支援を強化し、継続して体罰の発</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(2)ふるさとを愛する心を育む教育の展開</p> <p>①「いいでの子、大したもんだプロジェクト」の教育プログラム開発</p>	<p>ルカウンセラーによる心理相談を実施した。</p> <p>○学校に対し体罰を把握した場合には直ちに報告するよう求め、体罰の実態把握に努めた。</p> <p>○小中学生を対象に町内を受験会場に数学・算数検定を実施した。</p> <p>○「算数・数学難問クイズ」を毎月、各小中学校に設置し、子どもたちの学習意欲の向上を図った。</p> <p>○身近な地域教材や伝承文化、地域事業内容を総合的な学習の時間のプログラムに取り入れ、自然環境を活用した体験教室や地域を知るための郷土教育を推進してきた。</p> <p>○一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図りながら確かな学力を育み、子ども豊かな創造力と個性を伸ばす教育を進めてきた。</p>	<p>○延べ57名の児童・生徒が受験。合格者数は51名であった。</p> <p>【達成】</p> <p>○小学生延べ140名、中学生延べ35名が「算数・数学難問クイズ」にチャレンジした。</p> <p>【達成】</p> <p>○学校の活動を中心として、社会科町めぐり探検や職場体験学習、学校田（林）活用、ボランティア活動など、総合的な学習の時間に多彩なプログラムが実施されており、地域の有識者を招いての郷土学習を行うなど地域に誇りと愛着を持つ学習が重視されている。</p> <p>【達成】</p>	<p>○【目標】教育委員会独自の教育プログラムの実施。</p> <p>【実績】</p> <p>・数学、算数検定の町内での開催</p> <p>・「算数・数学難問クイズ」の実施</p>	<p>生防止に努める。</p> <p>○子どもたちの学習意欲を向上させるような取り組みを継続する。</p> <p>次年度は、中学生を対象に英語・数学・漢字検定の受験料に対し補助制度を検討する。</p> <p>○引き続き、確かな学力を育むために一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図る。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(3) 教育環境の充実</p> <p>①外国語指導助手の配置とICTコーディネーターの配置（外国語教育の強化、プログラミング教育）</p>	<p>小中学校及び幼児教育施設において、学習指導要領に基づく学習指導や異文化理解等が深められるよう、外国語指導助手を継続して2名配置した。又、昨年に引き続きICTコーディネーターを継続して配置した。</p>	<p>○子どもの興味・関心を高め、豊かな心で未来を生き抜く力を身につけさせるための学校生活支援や、子ども主体の学校行事の支援を行ってきた。各校とも、学習発表や学校行事、ボランティア活動、児童生徒会活動等あらゆる場面を通して、自分の思いや考えを伝え合い、共に高め合う取り組みが継続的になされている。</p> <p>【達成】</p> <p>○国際化社会に対応した教育施策の一環として、外国人の外国語指導助手を配置し、外国語によるコミュニケーション能力の向上や国際感覚の養成する授業を実施した。</p> <p>【達成】</p> <p>○GIGA スクールのタブレット端末を活用し、プログラミングの授業を実施した。</p> <p>【達成】</p>	<p>【目標】外国語指導助手及びICTコーディネーターの配置</p> <p>【実績】</p> <p>○外国語指導助手2名を配置</p> <p>○英語・ICTコーディネーター1名を配置。</p>	<p>○引き続き外国語指導助手の配置及びICTコーディネーターを継続する。</p> <p>○さらにICT教育の充実を図るためICT支援員を配置する。</p> <p>○ICT機器の計画的な更新を行うとともに、更なるICT環境の充実を図り、情報化社会に対応できる子どもを</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>②学校の在り方（再編）についての検討</p>	<p>学識経験者による「飯豊町小学校再編に係る専門家会議」を計7回開催し、町内の小学校の在り方や段階的な統合の進め方について検討を行った。</p>	<p>専門家会議では、「複式学級の解消は急務であり、再編統合は必要である」こと、「飯豊町の教育は、町内1校の「義務教育学校」として小中一貫教育を進めることが望ましい」ことなどの提言がなされた。できるだけ早く学校再編に向けた計画に着手する必要がある。 【未達成】</p>		<p>育てる。</p> <p>子どもにとって望ましい教育環境実現を最優先とし、学校再編の検討を進める。令和4年度は、専門家会議で提言があった「小中一貫の義務教育学校」を目指す上での、教育のグランドデザインを策定する。</p>

(重点項目) 子育て環境の整備

◇目標 「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、次世代を担う子どもたちを安心して育てられる環境づくりを総合的に進め、子どもが健やかに成長できるまちづくりを目指します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(1) 子育て支援サービスなどの充実</p>	<p>①産休明け保育や一時保育、放課後児童クラブなど多様なサービスを展開し、子育てしやすい環境整備を図ってきた。</p>	<p>① 産休明け保育の実施 (達成) 出産後も仕事を続けたいという女性のために、特にニーズの高い産休明け保育(生後3ヶ月～6ヶ月)を実施している。</p> <p>◇延長保育の実施 (達成) 全幼児施設において午前7時30分から午後6時45分までの早朝・延長保育を実施している。</p> <p>◇一時保育の実施 (達成) NPO法人「ほっと」との協働の取り組みによる委託事業として実施している。</p> <p>◇放課後児童クラブの実施 (達成) すべての小学校区の児童を対象とし、町内2箇所の放課後児童クラブを設置し、保護者の意向調査等から小学6年生まで拡大し実施している。</p>	<p>保育施設待機児童数 【R3 目標】 0人 【R3 実績】 0人</p> <p>学童クラブの実施 【実施箇所 2箇所】</p>	<p>①子ども・子育て支援計画に基づき、子育て相談窓口の機能強化、多様な保育ニーズへの対応、乳幼児保育の充実、子育て世代包括支援センターと連携した児童虐待等の未然防止や迅速対応への体制整備、NPO法人との協働の取り組みの推進など総合的な子育て支援体制の充実に努めていく。</p> <p>◇幼児教育と家庭教育の連携強化を図り、安定した親子関係の構築に努めていく。特に、未満児の保育については、家庭の役割、親の役割を十分に保護者に理解してもらうような働きかけをし、子どもと共に親も成長する過程を阻害しないようにしていく。</p> <p>◇将来の保育需要の動向や出生数の推移等を見定めながら、低年齢児の保育ニーズに適切に対応するため、子ども・子育て支援新制度や幼保一体化の議論なども</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>②「めざみっ子カリキュラム」に沿い、小学校と幼児施設との交流・連携・情報交換を図ってきた。</p>	<p>◇ファミリー・サポート・センターの運営（達成） 育児の援助を行う者と育児の援助を受けたい者を会員とする相互援助活動を組織化することにより、仕事と育児を両立できる環境を整備し、地域の子育て力を高めていくことを目的とし運営している。（令和3年度末会員数125人 利用件数109件）</p> <p>② 幼保小の連携（一部達成） コロナ禍のため、小学校との十分な交流を図れなかったが、一部の幼児施設は小学校との交流を実施。</p>		<p>踏まえ、就学前児童にとって望ましい保育環境及び幼児教育環境を構築する。</p> <p>◇小学校の児童に対して、授業の終了後等に適切な遊びの場及び生活の場を与えるとともに、その健全な育成を図るため放課後児童クラブを継続して開設し、放課後児童対策の充実に取り組んでいく。</p> <p>◇利用件数の増加や依頼内容の多様化に伴い、子育てをサポートする協力会員の人員確保と安全管理等が課題となっている。会員間の交流会の開催をとおし、安全管理の習得、信頼関係を築きながら安心安全なサポート活動を提供するとともに、引き続き事業啓発に取り組んでいく。</p> <p>②幼保小連携スタートプログラムの意義を十分に理解し、コロナ禍においても幼保小の連携と情報交換を図られるように創意工夫し一層進めていく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>③園の畑での作物栽培や地場農産物を利用した手づくりおやつ提供などの食育の推進、高齢者との世代間交流事業の実施、伝統芸能（獅子舞や太鼓）など農村文化を体験する活動に取り組んできた。</p> <p>④こどもみらい館の活動を中心に子育て講座や、ブックスタート、あそびの広場等の各種広場を開設し、子育て世代の交流支援と、子育てサークルの活動支援を行った。 また、育児相談などを行って。</p>	<p>③ 食育の推進など（達成） 地場農作物や、園の畑から収穫された旬の食材を給食やおやつに利用し、提供した。幼児施設での野菜栽培体験や果樹生産者との交流、栄養士との連携による園児・保護者への「食育」の啓発を行った。 コロナ禍であるため、密を避けながら、祖父母参観の実施、食改グループ、高齢者団体、地域住民との交流を行った。また、獅子舞など農村文化を体験する機会を創出した。</p> <p>④ こどもみらい館の運営（ほぼ達成） 子育て支援センターを併設した自由来館型児童館として、未就園の子どもと保護者、小学生等の集いと交流の場を提供するとともに、育児相談や情報提供などの子育て支援を実施している。</p>	<p>食育活動・交流活動実施施設 【R3 目標】 3園 【R3 実績】 3園</p> <p>こどもみらい館利用者数 【R3 目標】 5,000人 【R3 実績】 2,883人 こどもみらい館事業 ・親子で参加できる日理場の開催（月3回） ・子育て講座や子育て相談の実施 ・親子で町内幼児施設での交流</p>	<p>③引き続き、子どもたちが農村の豊かさを実感できるような食育教育の推進と高齢者の方などとの交流による保育・幼児教育の推進に取り組み、ふるさとに対する愛情を醸成していく。</p> <p>④3歳未満の子どもの約6割が幼児施設に入所しており、みらい館の利用者数は年々減少している。親子の心の絆が安定する1歳まで、できれば、3歳まで家族の愛を十分に受けながら、家庭保育をできる環境づくりを行っていく。 また、子育て世代包括支援センターと連携ししながら、子育てに関する育児相談を継続して行っていく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(2)子育て家庭の負担軽減	<p>⑤平成 28 年度より教育・保育を一体的に行う幼保連携型認定こども園「飯豊わくわくこども園」を整備し、年齢別の教育・保育を行っている。令和 4 年度に向けより「飯豊すくすくこども園」を整備した。</p>	<p>⑤ 幼保連携型認定こども園（達成） 令和 4 年度に向け、つばき保育園を幼保連携型認定こども園に移行した。</p>	<p>幼保連携型認定こども園の整備 【R3 目標】 2 園 【R3 実施】 2 園</p>	<p>⑤全ての子どもに質の高い幼児期の教育及び保育の総合的な提供を行うと同時に、発達障害を持つ子どもたちの生育環境を考慮した施設の設置を検討していく。</p>
	<p>①保育施設等の利用者負担の軽減を実施し、子育て世代の経済的負担を軽減してきた。</p>	<p>①保育園保育料幼稚園保育料及び児童センター使用料の軽減（達成） ◇令和元年 10 月より幼児教育・保育の無償化により、3 歳～5 歳及び 3 歳未満児の住民税非課税世帯の保育料が無償となり、それに併せ、添川児童センターの延長保育やわくわくこども園 1 号の預かり保育についても、おやつ代のみとした。 未満児に関しては、平成 28 年 4 月から低所得者世帯及びひとり親世帯の負担軽減措置を、 入園児が、同一世帯の 18 歳までの子から数えて第三子以降の場合、保育料を無償化、保育園への複数人の同時入所の場合、二人目の軽減額を拡充し、1/3 の額としている。 また、令和 3 年 9 月分の保育料から所得階層 3 階層と 4 階層の</p>	<p>・3 歳以上児の保育料の無償化 ・3 歳未満児の住民税非課税世帯保育料の無償化</p>	<p>①未満児に関しては、引き続き保育料等の軽減策を継続していくと共に令和 4 年度から所得階層 3 階層と 4 階層の保育料を 0 円にする。 また、第 3 子以降の 3 歳～5 歳児の子どもへの給食費と延長保育・預かり保育のおやつ代の無料化を継続していく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>②幼稚園等入所児童への給食提供を実施し、育児や家事の負担軽減に取り組んできた。</p> <p>③児童施設の園児送迎バスに町のスクールバスを利用し、利用者負担金の軽減を図ってきた。</p> <p>④東日本大震災による被災児童を受入れし、保育料等の支援に取り組んできた。</p>	<p>方について国の基準額の1/2を補助した。</p> <p>②幼稚園等入所児童への給食提供（達成） わくわくこども園幼児部と添川児童センターに、学校給食共同調理場からのおかず給食の配食を実施し、子どもの成長過程にあった給食提供に取り組んでいる。</p> <p>③児童施設の園児送迎バスの運行（達成） 園児の送迎バスとして、スクールバスを活用し運行するとともに、運転手の人件費、燃料費等を負担している。平成26年度からは添乗員の保険料、人件費の一部を助成している。 また、園外保育時においてもスクールバスを活用し送迎した。</p> <p>④東日本大震災による被災児童の受入れ（達成）</p>	<p>幼稚園等への給食提供 【R3 目標】 2園 【R3 実施】 2園</p> <p>児童施設の園児送迎バスの運行 【R3 目標】 3園 【R3 実施】 3園</p> <p>・乳児部1名、添川児童センター1名の受入れ、保育料の免除等の支援。</p>	<p>②今後も、栄養士が献立し、栄養バランスに配慮した、安全でおいしいおかず給食の配食を実施していく。</p> <p>③利用人数の増減により、利用者負担金の増減、添乗員手当の増減が生じないよう各園で一定程度の均衡が図られるように配慮したルールづくりを検討していく。</p> <p>④東日本大震災による被災者で該当する者は減少しているが、他の災害の被災者もいるため、今後も、被災児童を積極的に受入れし、</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
				被災者支援として継続して取り組んでいく。

(重点項目) 生涯学習活動の推進

◇目標 心豊かで品位のある人間性、創造力に富むたくましい人間、ふるさとの良さを知り飯豊町で生きる誇りを持てる「いい人」を育てるため、学習機会の充実や学習情報の提供を推進し、多様な生涯学習の展開をはかります。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(1) 生涯学習推進体制の整備充実	①生涯学習推進体制の充実	各地区公民館と連携し、地域を学び、地域の資源や特色を生かした創意工夫の生涯学習活動と地域文化の伝承に取り組んだ。【ほぼ達成】		地区公民館、地域及び関係機関等と連携を深め「集う・学ぶ・つなぐ」を理念とした生涯学習推進体制の充実を図る。
	②社会教育施設の維持及び整備 社会教育施設を中心とした生涯学習環境の整備・充実を促進した。	1) 施設利用環境の各種整備【達成】 中津川地区公民館・いいで天文台エアコン設置、東部地区公民館FF暖房機更新、中部地区公民館結露対策屋根裏修繕・屋根めくれ修繕等を実施した。 2) 分館施設の管理支援【達成】 中分館(中部)、黒沢分館(中部)、松原分館(東部)、高峰分館(西部)等の部分修繕について、分館施設整備事業補助金を交付し、地域が担う分館の施設管理を支援した。		地区公民館など社会教育施設の適切な機能維持を図り、気軽に利用し易い施設環境の整備を図る。 老朽化が進む分館の施設管理について、今後も適切な維持管理に努めていく。
	③家庭教育及び地域学校協働本部事業の充実 小中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域が連携・協働する仕組みづ	1) 家庭教育の推進【ほぼ達成】 各小学校の就学時健診や幼児施設のPTA研修会等の機会を活用し、各種講演や親子で楽しむ運動教室などの開催を通じて、家庭教育のさらなる	1) 家庭教育の推進 ・アンケート結果【幼児共育広場】 【R3目標】 好意的評価95%以上 【R3実績】	1) 家庭教育の推進 父母いずれかのみでなく、両親が揃って参加できる研修環境に配慮する。講演だけでなく、グループワークを通じて、

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>くりに取り組み、子どもたちの成長を支えるとともに、子どもたちが地域に出向く機会を増やすなど、地域と連携した学習環境の整備・充実に努めた。</p>	<p>推進を図った。</p> <p>2) 学校・家庭・地域連携協働活動【ほぼ達成】 飯豊中学校、第一小学校、手ノ子小学校に地域学校協働活動推進員を各1名配置し学校と地域のパイプ役として、地域ボランティア活動や職場体験学習、地域学習、校外学習などの連絡・調整を行い、地域住民の参画を得ながら仕組みづくりを行った。</p>	<p>良かった以上 96.3% また参加したい 95% 家庭教育の重要性について理解 98.3%</p>	<p>意見交換ができる場を創出する。</p> <p>2) 学校・家庭・地域連携協働活動 全ての学校に専任の地域学校協働活動推進員を配置し、地域と連携した学習環境の整備・充実に努め、子どもたちの成長を支え、郷土愛の醸成を図りたい。</p>
(2) 生涯学習の推進と学習情報の提供	①生涯学習の推進	<p>1) 図書室の利用拡大【ほぼ達成】 読書に親しむ機会や習慣を幼少期から構築していくため、絵本の読み聞かせ広場や各種の体験教室などを開催した。また、読書推進企画として、「本の福袋」「本みくじ」「読書の木」などを実施した。</p> <p>2) いいで天文台事業【ほぼ達成】 業務委託により、天文台設備による星空案内、地域・学校に出向いた天文教室、中部</p>	<p>1) 図書室の利用拡大・貸出延べ冊数 【R3 目標】 13,000 冊 【R3 実績】 13,012 冊</p> <p>2) 天文台利用者数（出前講座等含む） 【R3 目標】 500 人 【R3 実績】 494 人</p>	<p>1) 図書室の利用拡大 図書室の利用者は固定化しており、中学生～20代の利用が落ち込む傾向がある。町民の身近な学びの拠点である図書室の利用の裾野を拡大したい。</p> <p>2) いいで天文台事業 今後も、コロナ禍を見据えた予約公開や、主催事業を行う。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		<p>地区公民館・東部地区公民館及び飯豊中学校にて天文台紹介展示を行い、天文教育の普及に努めた。</p>		<p>また、学校活動や子ども会育成会とも連携し、天文台施設を活用した生涯学習を推進する。</p>
	<p>②学習情報の提供</p>	<p>地域の要望や要請に応じた魅力ある学習機会の提供と、町民に対する学習情報の発信に努めた。【ほぼ達成】</p>		<p>生涯学習に対する住民ニーズの把握に努めるとともに、各地区公民館、飯豊少年自然の家、源流の森や名所など町内資源の活用及び情報発信を推進する。</p>
<p>(3) 地域とともにすすめるまちづくりの推進</p>	<p>①地域の特徴を活かした、公民館活動や、まちづくり事業の展開</p>	<p>1) 各地区公民館事業【ほぼ達成】 ・地域資源を活かした多世代が交流できる事業を企画。ホームページ・チラシ等による周知及び開催状況の情報発信に努めた。コロナ禍において状況判断しながら、事業内容の検討や、活動の再開を行った。 ・文化祭は、展示をメインにし、開催日も単発とはせず、一週間にわたり開催するなど、コロナ禍でも実施できるような内容での取り組みと予防対策の徹底を図った。規模の縮小を余儀なくされる中であっても、工夫を凝らして地区のお祭りを実施した。</p> <p>2) 青少年の健全育成の推進</p>	<p>1) 各地区公民館事業 地区公民館（5館） 利用者数 【R3 目標】 20,000人 【R3 実績】 22,145人</p>	<p>1) 各地区公民館事業。 コロナ禍にあり、主催事業は感染予防策を講じ、オンラインの活用など、運営上の工夫を施しながら実施する。 また、町第5次総合計画に基づき、いいでの子大したもんだプロジェクトはじめ、生涯学習施策を推進する。</p> <p>2) 青少年の健全育成の推</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		<p>【ほぼ達成】</p> <p>町青少年育成推進員と連携し、研修会の開催、有害図書類調査、いじめ・非行防止標語募集・審査を行い、青少年をとりまく環境の向上に努めた。いじめ防止標語飯豊町優秀作品についてポスター掲示を行った。</p> <p>各地区子ども会育成会連絡協議会を通じ、各単位子ども会育成会に対して子ども会活動活性化推進補助金を交付し、活動費の支援を図ったが、コロナによって各団体とも活動が制限されることとなり、事業がまったくできない育成会が数地区あった。</p>		<p>進</p> <p>青少年の健全育成の推進にあっては、町青少年育成町民会議会員と連携し、地域を挙げて青少年の心豊かな成長を守る取り組みを推進する。</p> <p>今後も、各地区子ども会育成会に対し、補助事業を活用した活動の活性化について継続的に支援する予定であるものの、コロナ禍で活動が制限されることが予想される。できる限り地域資源を活用し、学校・地区公民館とも連携できる支援・育成の在り方について検討する。</p>
	<p>②地域活動拠点施設としての役割の充実</p>	<p>1) 地区まちづくりセンター事業</p> <p>【一部達成】</p> <p>各地区まちづくりセンターそれぞれの特色を活かしながら、居場所づくり活動、登山道整備、桜並木のライトアップ、地域のお祭りなどに取り組んだ。</p> <p>2) 地域活動機能強化事業【達成】</p> <p>各地区まちづくりセンター</p>		<p>1) 地区まちづくりセンター事業</p> <p>地域住民の主体的な参画を図り、地域を自分事として捉える意識の醸成に取り組んでいく。</p> <p>2) 地域活動機能強化事業</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		が避難所と位置付けられていることに加え、多様な活動ができるよう wi-fi 環境を整備した。		インターネット環境を活用した町民向けの各種講演や研修、住民サービスの向上について検討していく。

(重点項目) 多様な芸術文化活動の推進

◇目標 誰もが、いつでも、芸術や文化に親しむ機会を創出し、豊かな感性を育む環境の整備を進めるとともに、豊かで潤いある暮らしをもたらす芸術や文化をはじめとした町民の創造的な活動を後押しします。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(1) 芸術文化活動と音楽活動の充実	①芸術文化活動と音楽活動へのサポート	町民総合センター等における事業を充実し、公演等の機会を通じて文化・芸術を通じた町民の主体的な活動を後押しした。 ・ボイスパーティ in いいで ・クリスマスファミリーコンサート 【ほぼ達成】		自主事業を拡充し、音楽だけでなく、広範な文化・芸術分野に触れる機会を創出していく。
	②芸術文化の継承、発展、創造を担う人材の育成	優れた文化芸術に触れる機会を創出し、表現や創造活動を通じて、文化芸術に取り組む人材育成を図ります。 ・いいでみらいマルシェ ・第26回めざみの里音楽祭 【ほぼ達成】		創造や表現を通じて、暮らしに豊かさや潤いをもたらす文化芸術を通じた活性化や交流に取り組む。

(重点項目) 文化財保護と利活用の推進

◇目標 ふるさとの自然や地域文化を愛する心を育て、創造的でにぎわいのある地域づくりをめざすため、文化財の保護と活用をはかります。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(1) 文化財保護と利活用の推進</p>	<p>① 貴重な文化財や地域史研究資料の保全と活用</p> <p>地域に存在する文化財の保護と利活用を促進した</p> <p>地域の歴史や文化を後世に伝えるための基盤づくりを推進した。</p>	<p>○文化財の保護【達成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩生城址、萩生石箱遺跡公園の維持管理。 ・開発事業に対する埋蔵文化財対応(7件) ・カモシカ対応(4件) ・開発に伴う埋蔵文化財問い合わせ対応 <p>○歴史や文化を後世に伝えるための基盤づくり【達成】</p> <p>1) 飯豊町歴史文化基本構想令和3年事業計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯豊遺産リストとカルテの作成(R4へ継続) ・伊藤嘉六家文書の目録作業(R4へ継続) ・添川瓦工場の調査 ・蟻坂丹波の墓、添川館跡、数馬館跡の踏査 ・宇津峠道標、ロードサインの作成 ・天養寺観音堂の簡易資料館化事業(R4へ継続) ・天養寺絵馬の顔料調査(筑波第協力による) ・飯豊遺産リーフレットの作成 		<p>飯豊町歴史文化基本構想のスケジュールに沿って、飯豊遺産の保護と利活用を促進していく。</p> <p>飯豊町歴史文化基本構想で策定した具体的計画に沿って、文化財の調査、研究、修復、整備を推進する。またその情報をもとに、飯豊遺産情報を確保し、発信することで、文化財を後世に伝える意識を地域内に醸成し、人材の育成も図る。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		(椿、黒沢分) ・文化財看板の修理、新設 ・添川常福院不動明王三尊像修復事業の完了(三菱財団助成による) ・飯豊町郷土資料収蔵庫の設置、資料の運び込み ・飯豊町にいる昆虫標本の作製 3) 基本構想外の緊急実施事業 ・天養寺観音堂を中心とした町内の寺社仏閣への千者札被害の確認、除去作業 4) 飯豊町の歴史文化の普及啓蒙活動。 ・飯豊史話の発刊補助。天養寺観音堂収蔵資料の報告原稿を提供。 ・講話、小学校、中学生の学習事業へ協力(約 13 件)		

(重点項目) 生涯スポーツ活動の推進

◇目標 スポーツをとおして、明るく豊かで活力に満ちた地域づくりを進めるため、「町民一人1スポーツ」を目標に生涯スポーツの推進をはかります。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(1) 心身の健康と体力増進のための町民一人1スポーツの推進	①町民一人1スポーツ推進のための事業展開 生涯スポーツの推進に向け、町民一人1スポーツを目標	1) 関係団体との協働・連携促進 町体育協会(地区体協・スポーツ団体)及びいいでスポーツクラブキララの各種事業の支援を図った。	町民スポーツセンター利用者数 【R3目標】9,000人 【R3実績】8,250人 町民プール利用者数	1) いいでスポーツクラブキララについて、町民の参加促進やクラブ事業の充実を図り、一般会員数の増加に努める。また、

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>とし、スポーツ協会、いいでスポーツクラブキララ、スポーツ推進委員会などと連携を図ったが、新型コロナ感染症の拡大に伴い、ダムマラソンをはじめ各種事業を中止せざるを得ない状況となり、計画どおりに事業を実施することができなかった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、全国白川ダム湖畔マラソン大会をはじめ中止の判断をせざるを得ない大会や事業があった。町民プールについては、定員に上限を設けた他、3部の入替制とし、学校別に割振りをするこ とで、開放することができた。 【一部未達成】 2)町総合体育大会の開催 町体育協会及び各地区体育協会と連携し、スポーツを通じた交流づくり・健康づくりに努めた。9種目中4種目が新型コロナウイルス感染症の影響により中止、1種目が天候不良のため中止となったが、地区対抗得点制により実施した。【一部未達成】</p>	<p>【R3目標】4,000人 【R3実績】3,646人 手ノ子スキー場利用者数 【R3目標】 30,000人 【R3実績】 23,850人 いいでスポーツクラブキララ会員数 【R3目標】320人 【R3実績】305人</p>	<p>スポーツ推進委員・公民館との連携促進を図る。 新型コロナウイルス感染症の状況が見通せない中にあり、新しい生活様式における生涯スポーツの普及を進める。 2)町総合体育大会については、スポーツを通じた交流づくりとして今後も継続するが、「町民一人1スポーツ」を見据えた大会のあり方について検討を行う。</p>
	<p>②スポーツ施設の整備 町民スポーツセンター、手ノ子スキー場、自然観察学習園グランドゴルフ場などのスポーツ施設の管理・運営にあたり、施設利用の促進を図った。</p>	<p>1)施設利用環境の各種整備 【達成】 町民スポーツセンター及び手ノ子スキー場の管理運営を業務委託し、受託者等と連携して施設環境の整備に努めた。 また、町民スポーツセンター一屋内グランド人工芝化、町</p>		<p>町民スポーツセンター、町民野球場、町民プール、手ノ子スキー場、中津川体育館などのスポーツ施設の利便性向上と安全確保を図り、利用の拡大を図るために関係団体とも連携し、継続して各施設の設備整備に取組</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		民野球場点灯盤修繕、照明灯柱基部腐食防止補修、スポーツトラクター及び町民スポーツセンター柔道畳の更新など、施設環境の整備に努めた。		む。
	<p>③スポーツ団体の育成と競技力の向上</p> <p>各競技指導者の人材確保と指導力向上を図り、小学生から中学生までの競技力の向上を図った。</p>	<p>1) 指導者の育成【達成】 スポーツ少年団指導者の上部研修会参加に係る支援を行った。</p> <p>2) 上位大会への参加費用補助【達成】 全国規模の大会参加者に対し、大会登録料・旅費など参加経費の補助による支援を行った。 (2件)</p> <p>3) ジュニア対象競技大会の出場支援と強化【未達成】 新型コロナウイルス感染症により、各種大会が中止となり、例年出場している大会への参加ができなかった。</p>		<p>上位大会への参加費用補助による、競技力の向上を応援する支援事業を継続する。</p> <p>ジュニア世代の競技力向上や運動能力向上を図るため、ジュニア向け大会の出場支援について、今後も継続する。</p>
	<p>④子どもたちの体力等の向上やスポーツに親しむための事業展開</p> <p>児童・生徒の運動能力の向上を目指した。</p>	<p>1) スポーツ教室の開催【達成】 町小学校体育振興会と連携し、小学生の走力向上を図るため、町小学校陸上大会において陸上教室を開催した。 また、いいでスポーツクラブキララにおいて夏休み子ども</p>		<p>今後も小学生の運動能力向上を図るため、各種教室を継続して開催する。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		<p>も短期水泳教室(小学1・2・3年生児童対象)を開催したほか、新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度より延期となっていたクライミング初心者体験会を県山岳連盟の方を講師に招き実施した。</p> <p>スキー指導者講習会・親子スキー教室を開催し、技術力の向上を図った。</p>		